アルカディアの里 東京川西会 会報

芋煮会でお会いしましょう

東京川西会々長
森田　光雄
（大塚）

今年の夏も毎日うだるような暑さが続きました。私が住んでいる八王子市も初めて40度を超えて４０・３度を記録しました。全国を見ても今年は群馬県伊勢崎市で歴代日本最高４１・８度を記録し、昭和８年以降70年以上にわたって記録を保持した山形県の４０・８度もベストテンに入らない状況です。

各地で酷暑・渇水そして大雨と農作物をはじめとして、いろんな被害が発生しています。９月に入ってもこの暑さは続く予報ですが、この会報が届くころには少しは秋の気配が感じられたらと願うばかりです。

八月十日、川西夏祭りに５名で参加しました。今年は残念ながら雨模様でしたが、川西町町政施行「70周年」という大きな節目の祭りで皆さんが一体となって楽しめる体験型のイベントが開催されました。

この企画に、東京川西会の理事齋藤雄大さんが全体のプロデューサーとして、同じく新理事の武弓裕相さんもアシスタントとして加わり、祭りの盛り上がりに大いに貢献していただき感謝いたします。従来の川西伝統の獅子舞等に加え、ＥＸＩＬＥのＭＡＫＩＤＡＩ他のメンバーによる力強いライブで会場は熱気に包まれました。

最後に夜空を彩る花火大会で終了しました。是非、来年行ってみたいと思われる方は事務局に早めにご連絡ください。

いよいよ来月は芋煮会です。昨年は、前年の反省を生かし、量的に工夫を加えたため、十分満足できたという意見を数多く頂戴しました。今年も参加者の満足度が高い芋煮会をと考えています。是非知人も誘っていただき、多くの皆様方で楽しみたいと思いますのでご協力をお願いします。

５月に町議会議長の井上晃一様がご逝去されました。井上議長には公務ご多用の中、定期総会・芋煮会等ほとんどすべての行事に駆けつけていただき、当会の運営に多大なご協力とご支援をいただきました。謹んでご冥福をお祈りします。

第三十四回いも煮会へのご案内

謹啓　会員の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、「東京川西会」最大行事である「いも煮会」を、今年も左記の要領で開催致します。会員の方はもちろん、友人、知人をお誘いいただき、故郷の味を満喫して下さい。

記

◆**期　日　令和七年十月二十六日（日）午前10時20分開会**（小雨決行）

◆**会　場　秋川橋河川敷公園**（あきる野市留原）　ＪＲ五日市線　武蔵五日市駅下車　徒歩５分　（９時48分着の電車でおいで下さい。）

◆**会　費　会員・同居家族四千円　非会員四千五百円　中高生三千円　小学生五百円**（以上、ビール、ジュース等の飲み物券セット・当日納付）　**幼児無料**

◇郷土物産品販売、お楽しみ抽選会を準備しています。

参加の有無は同封のハガキにて十月八日必着でお願い致します。尚、雨天時の開催の有無の問い合わせは　０９０・４９５２・３３９７　鈴木まで

アルカディアの里「東京川西会」会長　森　田　光　雄

新たな節目に向けて

川西町長
茂木　晶
（小松）

全国で毎年のように最高気温を更新する中、会員の皆様は元気にお過ごしでしょうか。

ご多分に漏れず川西町においても7月は梅雨の時期とは思えないほどの高温少雨となり、水稲をはじめとした農作物の生育が心配されるところです。今年も8月9日（土）に川西ダリヤ園を開園したところですが、やはり高温と少雨によりダリアの生育にも影響が出ております。亜熱帯化していく環境にどう適応していくのか、難しい局面であると認識しています。

さて、直近の行事といたしましては、去る8月10日（日）に「川西夏まつり」を開催いたしました。森田会長をはじめご来場いただいた会員の皆様、開催にあたりご協賛いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

川西町制70周年の節目の年を記念し、今年は「KAWANISHI GREEN FESTIVAL ～未来へつなぐ提言～」と題しまして、著名なゲストをお呼びしてのステージイベントや、全国の美味しいものを集めた全国物産展など、内容、会場ともに例年よりも規模を拡大して開催をいたしました。

当日は生憎の雨模様となりましたが、それでも会場内の人通りは多く、予定していた行程もすべて実施することができました。一日を通して、ご来場いただいた皆様には夏まつりをお楽しみいただけたものと実感しております。

今回の節目を迎え、改めて、川西町の発展のため邁進していく決意をいたしました。東京川西会の皆様にも引き続き変わらぬお力添えのほど、どうぞよろしくお願いいたします。

就任のご挨拶

川西町教育委員会
教育長
片倉　和之
（小松）

私は、今年の3月末に教員を退職し、4月に教育長を拝命しました。以前に指導主事としての教育委員会勤務がありましたので、17年ぶりに町役場に通うことになりました。生まれも育ちも上小松で、山形大学時代の4年間と庄内地方に単身赴任した3年間以外は、ずっと地元で暮らしてきました。現在は、町内のソフトボールクラブ、スキークラブ、バンドで活動を楽しむ、根っからの川西人です。

さて、今年の川西夏まつりは、町制施行70周年を記念し、「KAWANISHI GREEN FESTIVAL ～未来へつなぐ提言～」として大々的に開催されました。当日はあいにくの小雨でしたが、東京川西

会の方々は、最初から最後までご覧くださいました。一緒に記念写真を撮っていただいたり、空に打ち上る花火をともに見上げたりしたので、私どもも素敵な時間を過ごすことができました。

川西町では、郷土川西町へ思いを馳せ、広い視野を持ち、まちを支え、まちづくりを担う「川西人」の育成を目指しています。しかし、人口の減少、施設の老朽化、経済規模の縮小が進む一方で、時代の変化に伴い、教育的ニーズの多様化・拡大化等に対応していかなければなりません。学校運営に関わる課題は多いのですが、地域の宝である子どもたちの成長のために、町外から応援してくださる方々の期待に応えるために、一つ一つの課題に真摯に向き合ってまいります。

川西町の最新情報

▼町制70周年記念！川西夏まつり

令和７年８月10日（日）、川西夏まつりを開催いたしました。

町制70周年となる今年は、「ＫＡＷＡＮＩＳＨＩ　ＧＲＥＥＮ　ＦＥＳＴＩＶＡＬ～未来へつなぐ提言～」と題し、例年よりも規模を拡大しての開催となりました。

町内事業者による「かわにしマルシェ」、全国から美味しいものが集まる「全国物産展」、著名なゲストによるパフォーマンスや和太鼓、吹奏楽、ダンス、新山神社の獅子舞、諏訪神社の商宮律（しゃぎり）、小松豊年獅子踊が披露された「ステージイベント」、「花火の打ち上げ」など、１日がかりのイベントでしたが、会場内は大盛況でした。

ご来場いただいた会員の皆様、また、まつりの開催にあたり、ご協賛いただきました会員の皆様に心より感謝申し上げます。

なお、今年も動画配信アプリ『ロコテレ』（無料）で、アーカイブが数か月の間ご覧いただけます。ぜひご利用ください。

『ロコテレ』のダウンロードはこちらからお進みください。

○お問合せ：町商工観光課
0238（42）6668

ふる里のおみやげに
塩小倉
十印
〒999-0121山形県東置賜郡川西町上小松1574
電話0238(42)3044・FAX0238(42)3144

かわにしのいいものを集めた「かわいい」
かわにし 森のマルシェ
野菜・くだもの・手芸品
レストラン
かわにし森のマルシェ
山形県東置賜郡川西町中小松2534
ＴＥＬ　0238-42-6664
営業時間　９：３０～１８：００
定休日　第４水曜
もち御膳もやってます

▼「山形かわにしの暮らし展」開催！

例年好評をいただいております「山形かわにしの暮らし展」を、今年も町田薬師池公園 四季彩の杜 西園を会場に、11月22日（土）、23日（日）の２日間で開催いたします。開催は今年で３度目となります。

当日は、パネル展示や芋煮の販売など本町の暮らしや食文化の紹介を通じて、ご来場いただく方々に本町に興味を持っていただくとともに、交流都市である町田市との関わりを大切にし、未来に向けよりよい関係を築いていくことができるような催しにしたいと考えております。皆様のご来場、心よりお待ちしております。

○お問合せ：川西町観光交流協会
0238（54）3006

▼「ふるさと北区区民まつり」に出店いたします！

これまで東京都北区の皆様とイベント出店を機に交流を深めてきたご縁から、今年も10月４日（土）、５日（日）に北区で開催される「ふるさと北区区民まつり」に出店いたします。

本町のブースでは厳選された特産品を提供したいと考えておりますので、皆様ぜひお越しください。

○お問合せ：町農林課
0238（42）6642

▼今年も「ふるさと納税」でのご支援、よろしくお願いいたします

「ふるさとに貢献したい」「まちづくりを応援したい」その想いを「ふるさと納税」で形にしてみませんか。

お礼の品として、川西町産のお米や地酒、米沢牛をはじめ、ボールペンなど魅力あふれる特産品をご用意いたしました。ぜひご支援賜りますようお願い申し上げます。

詳細は町ホームページをご覧ください。

○お問合せ：町商工観光課
0238（42）6645

東京川西会総会 初参加の自己紹介です

横浜市在住
嶋貫泰政（小松）

こんにちは。先ず初参加の総会は、懐かしい感じの雰囲気でアットホームな印象でした。

先日、兄の田植え手伝いに四日間帰って来て、ハードな作業で筋肉痛です。でも横浜に帰る前に、川西湖山病院の施設に入所している百四歳の母親に会えて疲れも忘れました。

自分は、高校を卒業して横浜の大会社に入社しましたが、大きな会社の歯車の一部であることに希望が見いだせずにいた所へ、趣味の車の整備のできるアルバイトの話が来て、二年位で二級整備士の資格も取る事が出き、オマケに整備のコンクールにその工場の大先輩と出場したら、神奈川県の代表になったりしました。それがキッカケで大会社を退職し、25歳の時にある人に誘われて起業しました。紆余曲折はありましたが、今も細々とですがメシが食えているのは感謝しております。

自分は、子供の時から体が弱く、冬の吹雪の通学が大の苦手で、息ができなくなるパニックになってしまい、何回も休んだりしました。しかし、スキーが大好きで雪が降るのをいつも待ち望んでいました。

弱い体に体力をつけることが出来たのは、近くの小さな山に一人でスキーに行き、自分で雪を踏みならしてゲレンデを作り、朝から夕方まで滑っていたからです。おかげで長井

の高校在学中にスキーの２級を取得出来まして、横浜の大会社に入ってからは秋田出身の人に誘われて、田沢湖スキー場に何回も行き、準指、正指とスキーの資格を取得して、横浜にスキークラブを作り、一昨年は60名も参加して記念パーティーも開くことが出来ました。オマケにスキー連盟から功労指導員のバッジも戴きました。

スキーに車に、今はダンスに歌にと楽しんでいますので、お金などあるはずがありません。こんな自分ですが宜しくお願い致します。

初参加の総会

柏市在住
鈴木 由佳子
（犬川）

このたび、はじめて東京川西会の総会に参加させていただきました。

令和４年に理事を務めている級友の髙橋雅彦さんに紹介していただき入会いたしましたが、しばらく機会を逸し、今回ようやく総会に出席することができました。

会場は、ご出身の方や縁のある方々の笑顔で溢れており、穏やかな懐かしい空気に包まれていました。皆様に温かく迎えていただき、初参加ながらも緊張することなく心が和みました。

総会では、会のご活動の内容や、今年町制施行70周年にあたる町の現状と今後の取り組みなどを知ることができ、また夏祭りへの意気込みも伺い、活気を感じました。

以前は各地区の小学校や旧庁舎前で開催されていた夏祭り。私も毎年夏祭りのパレードに参加し、伝統継承として川西音頭を踊っておりました。時代の流れ、変化とともに、なくなるものや生み出されるものがあると思います。今の時代のものを取り入れつつ、町の伝統継承と今後の発展に繋がる川西の夏祭りになることを期待し楽しみにしております。

いま私は、犬川に住む両親も高齢になり、心配にかこつけて2,3ヶ月ごとに帰省しておりますが、このたび総会に参加させていただき、川西を離れても支え貢献したいという熱い思いを持つ方々が集まるこの川西会を通じて、故郷とのつながりをより一層大切にしていきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

総会参加の皆様に感謝

実行委員長・副会長
名取 清雄
（中郡）

新緑の５月18日、東京川西会の第39回定期総会及び懇親会が、四ツ谷の「主婦会館プラザエフ」に於いて盛大に開催されました。

川西町からは茂木町長はじめ鈴木議会新議長、遠藤議会新副議長ほか関係の皆様が遠路駆けつけて下さり、友好団体の皆様、多数の会員の皆様と楽しく過ごすことができました。

会の始めにこの一年間に逝去された会員を偲んで黙祷を捧げ、第一部の総会では渡部俊明理事が司会進行を勤めました。実行委員長のことば、森田会長の挨拶、ご来賓のご紹介に続き、ご来賓の代表からご挨拶をいただきました。

茂木町長からは、東京川西会の皆様の川西夏祭りや黒べこ祭り等への参加に感謝とのお言葉に続き、新たに「川西町観光交流協会」がスタートしたこと、川西町が今年町制施行70周年の佳節を迎え、記念事業の準備が進んでいること、旧役場庁舎跡地に「川西まちなかテラス」が今年中に完成予定であること、ふるさと納税の支援に感謝などのお話をいただきました。

議事では、竹田英也議長の速やかな進行と会員の皆様のご協力により、予定されたすべての議題等が盛大な拍手で承認されました。

続いて、森田会長から役員永年功労者の方々を代表して星野亜輝子さんに感謝状と記念品が授与され、茂木町長からは新理事にふるさと交流大使の委嘱状が交付されました。

全員で記念撮影を行い、第二部交流懇親会では、寒河江輝文商工会会長に音頭を賜りビールで乾杯、川西町の地酒を酌み交わし、美味しい料理をいただきながら賑やかに談笑した後、カラオケ、お楽しみ抽選会と進み、豪華な賞品などで大いに盛り上がりました。

森のマルシェさんからは新鮮なきゅうりを全員に２本づついただきまして有難うございました。物産展も展開していただき、皆さんお好みの品物を買い求めておられました。

懇親会の最後は本間芳弘観光交流協会会長の一本締めで締めていただきお開きとなりました。反省点もあったかと思いますが、皆様のご支援、ご協力により盛会裡に開催することができました。実行委員を代表し厚く御礼を申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

川西夏祭りに参加

事務局報告

去る八月十日、町役場庁舎の駐車場、隣接するＪＡ山形おきたまの駐車場、さらにフレンドリープラザ前を会場に、川西町町制施行70周年記念事業の一つとしての川西夏祭りが、グリーンフェスティバル２０２５と銘打って盛大に開催されました。

今年のステージは、エグザイルの元パフォーマーでダンス＆音楽ユニットＰＫＣＺの中核メンバーであるマキダイさんを中心に、若者に焦点をあてた企画が目白押しでした。

あいにくの雨空ではありましたが、参加者も若い人が多く、活気を分けていただきました。

フィナーレは恒例の大花火大会で、雨を吹き飛ばして夜空を色とりどりに染め上げました。

今回の企画には、当会理事の斉藤雄大さんが深く関わらせていただいたとのことです。素晴らしい一大イベントに参加させていただきまして、ありがとうございました。

伊豆下田旅行に参加

世田谷区在住
倉田　和子
（高畠町）

7月6日、東京川西会神奈川地区恒例行事の第17回目一泊旅行に参加しました。

今回の旅行先は伊豆下田温泉で、15名の参加でした。上野駅公園口に8時30分集合。横浜からの乗車組と合流し、伊豆下田伊東園ホテル「はな岬」へとむかいました。

バスは横浜辺りより海岸線を並走するので山・海の車窓が続きます。景色を眺めているだけでも心身ともにのんびり、話もはずみ、旅行って日常の喧騒から離れ心の洗濯でしょうか。

途中、休憩と伊東マリンタウンで昼食をとり、目的地の下田伊東園ホテルはな岬へは3時頃到着。チェックインし各部屋へ。部屋からの海山の景色も素晴らしく、部屋もとても綺麗でした。

カラオケ・温泉とそれぞれ満喫しましたが、ここは下田、伊豆半島南東辺り、盆地育ちにとって穏やかな海の景色は非日常なのでズーっと眺めていられます。

連日の猛暑でしたが海風は幾分涼を感じますね。夕食会場はビュッフェスタイルで和洋中の種類も豊富に、ビール日本酒・ワイン等あり食事兼宴会となりました。また二次会の設定もあり、同郷ゆえの和気あいあい、がやがやの懇親飲み会となりました。

翌日はホテル近くの道の駅で名産の金目鯛の物産や海の幸等購入、ホテルより12時発のもと来た同じコースで帰路へ。途中鈴廣かまぼこ店へ立ち寄り帰還となりました。

リーズナブルな温泉旅行を企画して頂き有難うございます。幹事及び皆様お世話になりました。

新理事のご紹介

神奈川県横浜市在住
伊藤　操
（玉庭）

皆さんこんにちは、コロナも落ち着きやっと人が動き出したところです。行事も川西会は夏祭り、黒べこ祭り、芋煮会、忘年会等等、交流のあることが盛り沢山です。

私も理事を仰せつかりお手伝いできるか不安ですが、皆様のお力をお借りして頑張って行きたいと思いますので、宜しくお願い致します。

東京都小平市在住
伊藤　春作
（玉庭）

5月の総会において理事に選任されました、玉庭出身の伊藤春作と申します。

これまでは行事に参加させていただくばかりでしたが、今後は運営側としてお役に立てればと思います。

どうぞ宜しくお願い致します。

東京都品川区在住
武弓　裕相
（犬川）

このたび東京川西会に入会させていただきました。

川西町の発展と会員皆様との交流を大切にし、微力ながらお役に立てるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

訃報のお知らせ

前川西町議会議長
井上　晃一　様

井上議長が総会の直前、5月10日に逝去されたという、突然の悲報が届きました。

享年65歳、令和元年4月に初当選され、令和3年からは総務文教常任委員長、令和5年5月から議長を勤められました。

非常に気さくなお人柄で、東京川西会の諸行事には率先してお出で下さり、自ら裏方もこなすなど大いに助けていただきました。哀心よりご冥福をお祈り致します。

第五十七回研修会のお知らせ

恒例の年末行事である研修会と忘年会を、左記要領で開催致します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時　12月6日(土)　午後四時～

◆会場　新橋亭（しんきょうてい）
☎03-3580-2211
東京都港区新橋二-四-二
ＪＲ新橋駅から外堀通りの南側歩道を虎ノ門方向に徒歩3分

◆研修会
◇講　師　高橋　宮雄　当会監事
◇演　題　国酒　日本酒を極める
◇参加費　無料

◆忘年会：研修会終了後
（午後五時～）
◇会　費　六千円（当日納付）

参加の有無は「いも煮会」の返信用ハガキの「研修会・忘年会」の欄にご記入下さい。参加希望者には後日詳細案内をさし上げます。

会長　森田光雄
連絡先　鈴木茂
☎090(4952)3397

今回の研修会では、銘酒３本を用意して代表選手による唎き酒大会も行われるとのことです。

日本酒の好きな方、その味わいに自信のある方は奮ってご参加下さい。

庶務日誌抄

四月　五日　監事監査
四月　五日　第一回役員会
四月十五日　会報第98号発行
五月　十日　第二回役員会
五月十八日　第三九回総会
六月　七日　第三回役員会
六月二八日　正副会長監事会
七月六～七日　神奈川地区行事
八月　十日　川西夏祭り参加

編集後記

今年は終戦から80年、テレビでも様々な企画が目白押しでした。

戦争は悲惨だ、絶対起こしてはならないという声は高いのですが、しかし世界では戦争がなくならないどころか、国のトップが核の使用を匂わせたり、使用を正当化したりと、日本人の感覚では到底許すことのできない発言が飛び出しています。

全くの私見になりますが、私は次のように考えています。

まずなぜ戦争がなくならないかですが、それは勝ってしまえば責任が問われないという、悪しき世界の常識があるからです。第二次世界大戦の経験者がいなくなる戦後百年には、戦勝国であっても戦争責任、人道上の罪が厳しく問われる世界となるように、今から国連の仕組みを変える検討を開始していく必要があります。

次に、核爆弾とは何かということですが、核爆弾で殺害されるのは軍人は微々たる人数で99.9％が一般の民間人です。つまりその存在自体が国際人道法に反する悪魔の兵器だということです。あり得ないことですが、仮に太平洋戦争において被爆国の日本が勝利していたとしたら、投下した国の大統領以下の膨大な人数が、人道に対する罪によって断罪されていたはずです。ですから、核爆弾を使用する者は、勝っても負けても断罪されることを制度化しなければなりません。

戦争は国が起こすもので、国民が起こすものではありません。しかし、最初は反対していた国民も、極悪非道な敵から国を守るのは当然のこととして自ら戦場に向かうように仕向けられます。そこで重要なのは、自分は殺されても人殺しの戦争には協力しないという、一人一人の断固とした決意です。何百万人、何千万人が敵のスパイだとして拘束されても、入れる留置所がなければ戦争になど進めないはずです。

さて、丁度いま各地では敬老会が催されているのではないでしょうか。

ついに団塊の世代がすべて後期高齢者となり、後期高齢者は二千百万人、国民の5.9人に一人が75以上です。

一方、よく言われる健康寿命は、男性は72．57歳、女性は75．45歳で、平均寿命まで男性は約8.5年、女性は約11.6年となっています。

私の自治会では、５年前から高齢者を中心に近くの広場で朝のラジオ体操を行っていますが、しっかり伸び上がったり沈み込んだりしていると、結構な筋肉を使う動作が多く、よい運動になっています。また、わずかな時間の立話が、脳にも良い刺激を与えてくれます。

健康の維持と社会との接点の維持、よく食べよく眠る生活リズムの維持が益々重要です。芋煮会で元気にお会いしましょう。

東京川西会　会報　No.九十九号
発行「アルカディアの里」東京川西会
発行責任者　会長　森田光雄
編集者　事務局長　鈴木茂
〒362-0064
埼玉県上尾市小敷谷一〇五八・七一
TEL・FAX　048-725-3249
携帯 TEL　090-4952-3397